学園案内

2020 Brand Guide

School Juridical Person OSAKA SANGYO UNIVERSITY

選ばれ続ける学園であるために

偉大なる平凡人たれ

学校法人
大阪産業大学

大阪産業大学
大阪産業大学附属高等学校
大阪桐蔭中学校高等学校

次代を照らす 知の創造と発信

Contents

建学の精神…… 01-02P
教育理念…… 03-04P
Vision 100 …… 05-10P
社会連携……11P
プロジェクト共育 ……12P
国際交流……13P
キャリア支援 ……14P
学校法人大阪産業大学設置学校の概要……15P
大阪産業大学…… 16-18P
大阪産業大学大学院…… 19-20P
大阪産業大学附属高等学校…… 21-22P
大阪桐蔭中学校高等学校…… 23-24P
学園のあゆみ…… 25P
組織図…… 26P
データ集…… 27-28P
財務状況…… 29P
行動指針…… 30P

偉大なる平凡人たれ

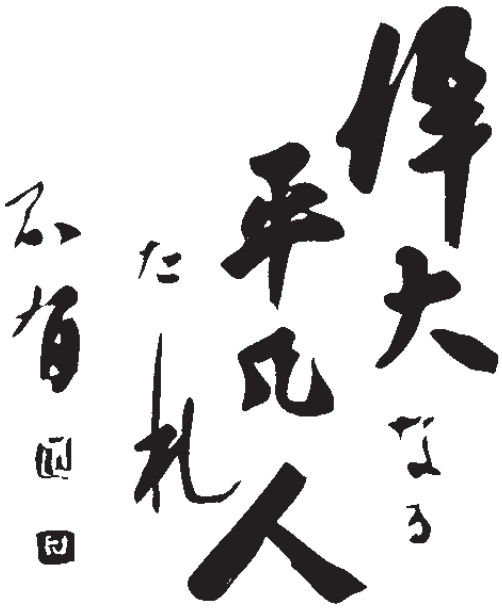
創立者・瀬島源三郎は、わが国将来の産業経済を考えるとき、交通と産業の併行的発展こそ、不可欠であることを痛感し、赤手空拳をもって、昭和3年(1928)年大阪鉄道学校を創立しました。
以来、交通・産業教育に加えて、人間形成、創造性開発に重点をおく人材を育成し、自己確立の信念に生きる人づくり、即ち「偉大なる平凡人たれ」を建学の精神とする独自の学風を通じて、深い人生観と広い世界観を養うとともに、新しい産業社会の発展と人類の福祉に寄与できる世界的視野に立つ近代的産業人の育成にたゆまざる情熱を傾け、日進月歩の社会発展に対応できる学府として貢献してきました。

創立者 瀬島源三郎

創立者のことば

「従来の教育のごとく、出世のための手段としてではなく、そういう功利を離れた教育の場をつくるということと、それが国全体の文化向上への大前提であると考えたのが、本学園創立の趣旨であり、従って人間各自の使命を完全に果たし、それが生を享けた人間の生き甲斐であるという、教育のあり方を、私は考えた。
偉人になるとか、学者になるとか、名誉や地位の高い人間になるとか、金持ちになるとか等の、小乗的な功利主義的な考えを捨てて、いざとなれば、おのれを殺して人間社会に貢献する、それが自分の生き甲斐であり、そして、それが同時に平和で幸福な生活に繋がり、従って長い人生への生の悦びであるというような考え方を持って、平凡なようだが、かくなくてはならない人間社会構成への最もよき分子になる教育を私は考えた。これこそ、私の考えた人生において最も偉大なものであると……。」

創立40周年誌(1968年刊)瀬島源三郎回想録『創立の精神』から



教育理念

社会基盤を支える人づくり

実学教育 × コラボレーションで 次代に先駆ける人材を育成。

グローバル化・高度知識化がますます進む現代、
産業界や地域社会との連携による学びの実践がより必要とされています。
学校法人大阪産業大学は、創立以来の実学教育と多様なコラボレーションを礎に
次代に先駆ける有用な人材を育成します。

理事長のメッセージ

信頼され、選ばれ続ける学園を目指して

学校法人大阪産業大学は、1928年の創立以来「偉大なる平凡人たれ」を創立の精神として掲げ、社会に貢献できる質の高い教育機関を目指し、実社会を支える有能な人材育成を目標に、中学校から大学院に至る教育体制・施設の整備に注力して参りました。

現在では、大阪産業大学（6学部13学科、大学院4研究科）、大阪産業大学附属高等学校、大阪桐蔭中学校高等学校を設置し、学生生徒数は約13,000名、職員約700名を擁する教育機関に成長すると共に、これまで実に16万名余の卒業生が社会に巣立っております。

2018年11月には、学園創立90周年を迎えましたが、この機会に、10年後の100周年に向け、総合教育機関として、変化する社会の要請に応える教育研究体制の更なる整備に向けた展望を、別添の長期ビジョン「Vision100」として示すとともに、その実現のためのアクションプランとして中期事業計画を策定いたしました。

これからも職員一同一丸となって、「学生・生徒のために」「地域のために」何をすべきか自問しつつ「Vision100」の実現を目指し、中期事業計画の着実な実行に努め、社会から信頼され、選ばれ続ける学園を目指して一歩一歩進んでいく所存であります。

理事長
北前　雅人
MASATO KITAMAE

Vision100

10年後もその先も
選ばれ続ける学園であるために

平成30（2018）年に創立90周年を迎える学校法人大阪産業大学は、昭和3（1928）年、瀬島源三郎により大阪鉄道学校として創立されました。

以来、建学の精神「偉大なる平凡人たれ」の下、一貫して、実社会を支える有能な人材育成を目標に掲げ、社会に貢献できる質の高い教育機関を目指して注力し続け今日に至ります。現在では大阪産業大学（6学部13学科、大学院4研究科）、大阪産業大学附属高等学校、大阪桐蔭中学校高等学校を設置し、学生・生徒数は約13,000名、職員約700名を擁する教育機関に成長すると共に、これまで実に16万余名の卒業生が社会に巣立っております。

これもひとえに、各界各層からのご理解とご支援の賜物と心より感謝いたします。

一方、私学経営の環境を見ますと少子化の影響により、大学の主要指標である18歳人口は、今後10年間で約118万人から106万人に約11%減少すると予想され、非常に厳しいものとなります。本学園が拠点を置く近畿地方に限っては一層深刻なことに約20万人から17万人へと、約15%減少します。また、私学経営環境の悪化のひとつとして、大学進学率の頭打ちが挙げられます。これまでは大学進学率の上昇により、少子高齢化による大学進学者数への影響は緩和されていましたが、近年は緩やかとなりこれ以上の上昇を見込むことは難しいと予想されます。

このような厳しい状況下において、社会から選ばれ続ける学園であるためには、学園の考えや思いを広く社会に公表する必要があると考え、10年後に迎える学園創立100周年に向けた展望を「Vision100」として示すこととといたしました。

また、学園構成員一人ひとりが帰属意識を持ち、「学生・生徒のために」「地域のために」何をすべきか、目標を掲げ行動するための「職員の行動指針」を策定し、これを宣言することといたしました。

今後、職員が一丸となって本Visionの実現と行動指針の実行を通じて、学園の発展と社会への貢献を果たすため取り組んで参ります。

Ⅰ.学園総合力の強化に向けた行動戦略

1.建学の精神「偉大なる平凡人たれ」に基づいて、中学校から大学院に至る総合教育機関として、社会の要請に応える教育研究体制を整備する

■大阪産業大学

○目指す人物像

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」を念頭に置き、社会人としての教養と倫理観を養い、思いやりとやさしさの精神を持ち、変化の激しい社会に対応する能力と主体的に取り組む意欲により、社会と産業に貢献することができる実践的「産業人」を育成する。

○学びのかたちの新しい展開

大阪東部の「ものづくり」が特色である地域社会と大阪湾から生駒山脈へ連なる自然環境に根ざした教育、将来のキャリアを見通した教育を実現する大学として、豊かな人生を歩むことができる学生を育む。

(1)確かな基礎学力、課題を発見し必要な情報を収集できる力、協働する力を身に付け、社会と産業における課題を解決できる実践的な能力を開発することにより、激変する情勢の中で新たな価値を産み出し、未来の社会に対応できる「生きる力」を養成する教育を行う。

(2)学科の鏡となる学生の育成を行い、アクティブ・ラーニング、ICTの活用による基礎学力の向上を図り、学生がさらに能力を伸ばすことができる教育を行う。

(3)高校から大学へのスムーズな移行を図る高大接続プログラムを充実させ、地域の自然環境・産業社会に結びついた教育を行う。さらに、学生の就職力が向上する教育を目指す。

(4)学生の学習状況・出席状況等を把握し、かつ入学から卒業までの教育成果を分析するためのIR(Institutional Research)分析を充実させ、個々の学生の状況に応じた履修指導をきめ細かく行う。また、IR分析の結果に基づき、教育カリキュラムの改善を定量的かつ継続的に行う。

■大阪産業大学附属高等学校

○現代社会で活躍できる「人間力」を備えた人材の育成

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」に基づいた教育を推進し、「知識」と「知恵」を備え、かつ、「努力することを厭わない」「与えられたことを責任を持ってやり遂げる」ことのできる生徒の育成に努める。

■大阪桐蔭中学校高等学校

○中高一貫教育を通しての人間力育成

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」、教育実践目標「鼎立成りて碩量を育む」の下、相手を思いやり、周囲に気配りのできる「優しさ」、得た知識を活用できる思考力・判断力・表現力を兼ね備えた「賢さ」、逞しく生きるための「強さ」の徳・知・体のバランスのとれた生徒の育成に努める。

2. 各学校の特色を尊重しつつ、中高一貫および高大接続の教育・スポーツ連携による相乗効果を最大限に生み出す仕組みを構築する

○高大接続、高校間連携の強化

(1) 大阪産業大学附属高等学校にて、大阪産業大学入学後に単位認定される授業や大学高校合同による海外研修等を実施する。

(2) 大阪産業大学と大阪桐蔭高等学校とのスポーツクラブ合同練習やスポーツ施設を有効利用する。

(3) 大阪産業大学附属高等学校と大阪桐蔭中学校高等学校とのスポーツ連携、合同練習やスポーツ施設を有効利用する。

3. 地域における「知の拠点」「生涯学習の場」「社会人の学び直しの場」として地域とのかかわりを強化し、地域の問題解決および実践教育を行うプラットフォームを構築する

■大阪産業大学

○地域に必要とされる大学へ

地域社会、企業、学校等と連携した教育研究を行い、将来の地域社会・産業に必要な産業人を養成すると同時に、学びの場の拠点となることを目指す。

(1) 大阪東部など「ものづくり」を特色とする地域の企業との製品開発・共同研究等を積極的に行い、商品開発、特許など知的財産の獲得を推進する。

(2) 地域の産業人に経営・技術・技能等に関する教育を提供する。

(3) アジア地域を中心としてグローバルな視点を持ちながら、地域貢献に対応できる学生を育成するため、海外の大学との交流を図る。

(4) 地域企業へのインターンシップを促進する。

(5) 大東市と連携し「環境」「観光」「健康」の3つのテーマで行っている大東シニア総合大学をさらに発展させ、地域の活性化に貢献する。

■大阪産業大学附属高等学校

○地域から支持される学校作り

地元地域との連携の強化を図り、地域住民との交流を深め、また地域への貢献を果たすことで地域から支持される学校作りに努める。

■大阪桐蔭中学校高等学校

○地域に評価される学校作り

地域と連携・協力して教育課題を共有しながら、その解決を図り、地域に根ざした質の高い教育を目指す。

4. 学生・生徒の安心・安全および快適さを備えた地域に開かれたキャンパス整備を推進する

■大阪産業大学

○キャンパスライフの質的向上

学生の安全、健康を守るための教育と環境整備を進める。感性豊かな学生生活を送ることができ、かつ学生・教員が対話し「生きる力」を身に付けるための教育環境を整え、教室の整備、福利厚生のための施設・設備の充実を図る。

(1)大学キャンパス整備計画に沿って教育研究環境の充実を図る。

(2)地域の方々にも利用頂けるような魅力ある食堂への改善を行い、地域に開かれたキャンパス整備を進める。

■大阪産業大学附属高等学校

○教育環境の整備

新校舎建築に向けての検討を進め、ICT教育環境等の施設・設備の充実を図り、安心・安全・快適、かつ効率的な教育が進められよう努める。

■大阪桐蔭中学校高等学校

○教育環境の整備

施設の老朽化対策、ICT 教育環境、エコスクール化、さらには、安心・安全で豊かな学びを可能にする教育環境の整備を進める。

5. 卒業生および保護者との連携を強化する

卒業生および保護者とのコミュニケーションをさらに強化して、学園と卒業生および保護者が一体となって学生・生徒へのサポートが行える体制を構築する。

6. 各機関においてブランド力の確立・強化を目指した取り組みを積極的に行い学生・生徒が自信と誇りを持てるよう努める

■大阪産業大学

○産大ブランドの確立

在学生・卒業生が産大人であることを誇りに思うことができる大学とする。学部・学科のシーズを創造・発信し、産業・社会に貢献できる大学とする。

(1)大学院および学部の教育研究内容の特徴を明確に示し、ブランドを確立する。

(2)本学の研究成果から得たシーズを企業等との共同研究・製品開発につなげ、有為な産業人を育成する。

(3)個々の学生にとってふさわしい就職ができるよう教育し、かつ総合的なキャリア支援を行う。

(4)継続的な広報により、大学の教育研究活動を社会に向けて発信する。

■大阪産業大学附属高等学校

○産大附属ブランドの確立

高等学校の2科5コースの特長を明確化し、それぞれのコースが高い目標を掲げ、実践することによって、すべての生徒が自信と誇りを持てるよう努める。

■大阪桐蔭中学校高等学校

○大阪桐蔭ブランド力の強化

中学校・高等学校Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類の教育重点目標を明確にし、系統性・計画性をもって、教育活動に励み、生徒一人ひとりが桐蔭生としての自信と誇りを持ち、社会に貢献できる人材の育成に努める。

Ⅱ.組織・人事戦略

1. ガバナンスの継続的な強化

(1)理事会、評議員会および監事会での審議内容を充実させ、意思決定機能および牽制機能を強化する。

(2)学園は公共的な存在であるとの認識のもと、幅広く外部有識者から意見聴取し、社会の信認に応えていく。

2. 内部統制システムの充実および強化

(1)学園諸規程および意思決定の仕組み(業務プロセス)を継続的に見直し、組織の健全性と効率性を両立させる仕組みを構築する。

3. 帰属意識の向上、自由闊達な組織風土の醸成、職員の士気向上およびコンプライアンスの浸透を図る

(1)職員が一丸となり、自由闊達な雰囲気の中、共に前進する環境を整える。

(2)事務職員の能力を最大限に発揮できる人事制度の確立―目標管理制度、賃金制度および昇格制度等の整備・見直しを行う。

(3)階層別研修、目的別研修、コンプライアンス研修等、研修制度の充実を図る。

Ⅲ.財務戦略

1. あらゆる収入増加策を図り、経営基盤を安定化させる

(1)適正な授業料収入の確保に加えて、補助金を始めとした外部資金の受け入れや着実な資産運用による収入など、あらゆる収入増加策を図る。

(2)健全な財務基盤を確立し、キャンパス整備を含む教育環境の充実を図る。

(3)収入増により、財務体力を強化させ、学園経営の永続を目指す。

2. 費用対効果を検証し、支出内容の質を高める

(1)各機関での事業内容の優先度を整理し、予算を効果的に配分する。

(2)事業活動の支出に対する検証を行い、冗費を節減する。

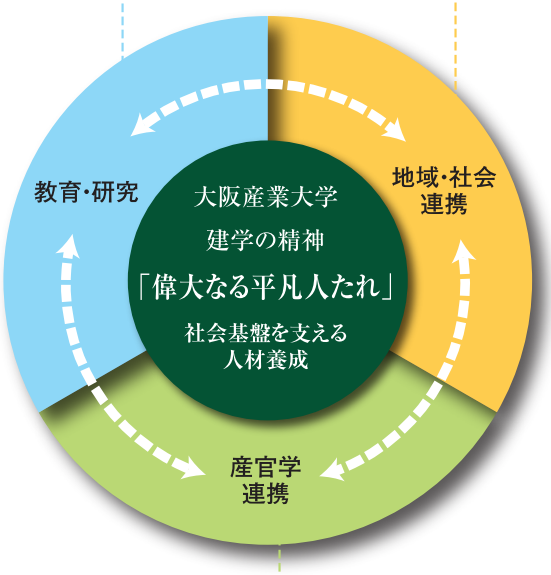
地域や社会に開かれた学びの場づくり

実学教育の一環として、企業・行政や地域社会と積極的に連携

創立以来の「実学教育」の伝統のもと、地元大阪東部地域を拠点とする企業、商工団体や行政との連携による共同研究や技術指導など独自の取り組みを早期より展開。新たな研究プロジェクトとして大きな成果となって結実しています。またスポーツ指導や生涯学習機会の提供などを通じ、地域社会や住民との交流も積極的に推進、社会に開かれた学びの場づくりを目指しています。

学内プロジェクト
- プロジェクト共育（12P参照）

学内組織・施設
- 綜合図書館
- 新産業研究開発センター
- アジア共同体研究センター
- 梅田サテライトキャンパス
- 大阪産業大学孔子学院
- 全学教育機構（クリエイトセンター）
- 神戸・イノベーションオフィス



地域・生涯学習への協力
- 市民講座
- 子供向けものづくり講座
- いきいき大東スポーツクラブ（Wellness 2008）
- だいとう人材問屋
- 大東シニア総合大学
- 東大阪市連携6大学公開講座
- ひらめき☆ときめきサイエンス

地域協力
- 大東市産業振興ビジョン
- だいとう産業活性化協議会
- 東大阪市地域研究助成事業
- 大東市との連携に関する包括協定
- 東大阪市との連携・協力に関する包括協定

- 産学連携コーディネーター

地元金融機関との連携協定
- 南都銀行
- 大阪シティ信用金庫

本学連携施設
- クリエイション・コア東大阪

協力団体
- 地元商工会議所
- 東大阪市
- 大東市
- ものづくりビジネスセンター大阪
- 八尾経営技術交流会「マテック八尾」
- オンリーワン研究会（大阪府中小企業家同友会）

学生たち自身の力で“学生力”を育む

問題解決能力を身につける、ユニークな学生主導プロジェクト。

学科や学年の枠を超え、学生自らがテーマに取り組むプロジェクト共育。学生主導で取り組むことで、社会人に必要とされる問題解決力やコミュニケーション力を養うことが出来ます。現在、車・乗り物系、ものづくり・能力開発系、スポーツ運動系、エコ・環境・地域系の４分野で 18 のプロジェクトが活動中。

「鳥人間プロジェクト」は2019年7月27日開催の「第52回鳥人間コンテスト」滑空機部門に出場しました。

活動中のプロジェクト （2020.4 現在）

車・乗り物系プロジェクト

- ソーラーカープロジェクト
- 学生フォーミュラプロジェクト
- 新エネルギービークルプロジェクト

ものづくり・能力開発系プロジェクト

- 鳥人間プロジェクト
- ロボットプロジェクト
- 3D CADで「ものつくり」プロジェクト
- OSUエルダープロジェクト
- 音楽プロデュースプロジェクト
- 図書館クラブプロジェクト
- デジタルテクノロジーで未来の研究をしようプロジェクト

スポーツ運動系プロジェクト

- ドラゴンボートプロジェクト

エコ・環境・地域系プロジェクト

- 森・川・田んぼプロジェクト
- エコ推進プロジェクト
- 市民・地域共同発電所プロジェクト
- OASIS@OSUプロジェクト
- OSU舞龍団プロジェクト
- 山里の寺子屋プロジェクト
- ものづくり育成プロジェクト

異文化コミュニケーションの実践ステージ

グローバルな視野を育む国際交流プログラムの数々。

本学園は、世界17の国と地域、70を越える大学と協定を締結。留学生の受け入れや学生の交換留学・語学研修、教員の交流など積極的な国際交流を推進しています。グローバル化が急速に進展するなか、多彩な国際交流プログラムや異文化コミュニケーションのための環境制度で学生をサポート。ワールドワイドな視野を備え世界に通用する真の国際人育成を目指しています。

世界17の国と地域、70以上の大学へと広がる提携校

中国
山東交通学院
天津理工大学
長安大学
復旦大学管理学院
大連理工大学
上海交通大学
華中科技大学
貴州大学
哈爾濱理工大学
上海外国語大学
東北師範大学人文学院
雲南財経大学
延辺大学
同済大学
西安交通大学
西南交通大学
天津交通職業学院
河南大学
安徽三聯学院
河南財経学院
山東威海外国語進修学院
煙台職業学院
湖州師範大学
大連民族学院
中国海洋大学
黒龍江大学

イギリス
ブライトン大学
ウェールズ大学カーディフ校

フィンランド
オウル大学

ドイツ
ヴュルツブルク大学
チャールズ大学

チェコ
デュズジェ大学

トルコ

フランス
パリ・ラ・ヴィレット建築大学

ネパール
トリブバン大学

ミャンマー
ヤンゴン経済大学

ラオス
ラオス国立大学

タイ
カセサート大学
チュラロンコン大学
チェンマイ大学

ベトナム
ホーチミン市工科大学
ホーチミン市経済大学
ホーチミン市社会科学人文大学
日越大学

インドネシア
スラバヤ州立大学
ジャカルタ州立大学
ジョクジャカルタ州立大学

台湾
國立暨南國際大学
中原大学
北台湾科学技術学院
開南管理学院
国立台中技科大学
国立高雄大学
義守大学

韓国
国立ハンバット大学校
三育大学校
国立忠南大学校
聖公会大学校
京畿大学校
東西大学校
亜州大学校
平澤大学校
国立ソウル科学技術大学校
驪州大学校
仁川大学校
嶺南理工大学校
慶南情報大学校
仁徳大学校
青巌大学校
成均館大学校
又松情報大学

カナダ
ランガラ大学

アメリカ
ワッコムCC
ワシントン大学CC

平成29年度より、一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーションとパートナーシップ協定を締結しました。
本協定により、上記協定校とは別に、世界12カ国100大学以上への留学が可能になりました。

JSAF
Japan Study Abroad Foundation

一人ひとりに寄り添う就活サポート

独自の就職支援プログラムで、最適な進路選択へ導く。

高い就職率を保ち続ける本学。 学生の就職を全面サポートするキャリアセンターでは、 独自の就職支援プログラムと学生一人ひとりに寄り添うキメ細かな就活サポートで、納得の就職先へと導きます。そしてすでに社会で活躍する数多くの先輩たちが、就職先企業から高い評価を頂いていることも希望の就職実現へ向けた大きな後押しとなっています。

就職活動の拠点として学生からも信頼される キャリアセンター

細分化された就職支援プログラムで、毎年高い就職率を実現。

学生の就職活動の拠点となるキャリアセンターでは、最新の求人情報の検索、キャリアガイダンス、合同企業説明会、業界研究セミナー、公務員セミナー、就職対策講座、スキルアップ講座、インターンシップ、キャリアカウンセラーによる就職特別講座、模擬面接などを実施。さらに各学科に専属のスタッフを配し担当学生のプロフィールを把握、最適な進路選択を親身になってサポートしています。

教育・学習支援活動を総合的にサポートする 高等教育センター

社会人基礎力の養成、資格取得支援など カリキュラム以外での学びをバックアップ。

高等教育センターでは、初年次教育eラーニングの実施、学習支援センターにおける学習相談、ランゲージ·カフェにおけるネイティブスピーカーとの外国語会話などを通じ、学生の基礎学力強化を支援しています。
また、各種資格講座の開講やプロジェクト共育の運営、ラーニングコモンズにおける自由で新しい学習空間の提供などを通じて、学生の社会人基礎力を養成し、学生が社会に出て必要とされる人材となり得るよう、全力でサポートしています。

大阪産業大学

大学院
●人間環境学研究科　●経営・流通学研究科
●経済学研究科　●工学研究科

人間環境学研究科
- ●博士前期課程
  人間環境学専攻
- ●博士後期課程
  人間環境学専攻

経営・流通学研究科
- ●博士前期課程
  経営・流通専攻
- ●博士後期課程
  経営・流通専攻

経済学研究科
- ●博士前期課程
  現代経済システム専攻
  アジア地域経済専攻
- ●博士後期課程
  アジア地域経済専攻

工学研究科
- ●博士前期課程
  機械工学専攻
  交通機械工学専攻
  都市創造工学専攻
  電子情報通信工学専攻
  情報システム工学専攻
  環境デザイン専攻
- ●博士後期課程
  生産システム工学専攻
  環境開発工学専攻

国際学部
●国際学科

スポーツ健康学部
●スポーツ健康学科

経営学部
●経営学科
●商学科

経済学部
●経済学科
●国際経済学科

デザイン工学部
●情報システム学科　●建築・環境デザイン学科
●環境理工学科

工学部
●機械工学科　●交通機械工学科
●都市創造工学科　●電子情報通信工学科

全学教育機構

産業研究所

大阪産業大学附属高等学校
- ●普通科
  特進コースⅠ/特進コースⅡ/
  進学コース/
  スポーツコース
- ●国際科
  グローバルコース

大阪桐蔭高等学校
Ⅰ類/Ⅱ類/Ⅲ類

大阪桐蔭中学校
英数選抜コース/ 英数コース

国際学部

ことばで世界の扉をひらこう！

実践的な外国語能力と確かな日本語の力をもとに、コミュニケーション力を養い、異なった文化的背景をもつ人びとと協働・共生し、地域社会と国際社会に貢献できる創造性豊かな人材を育成します。

ことばを学び、異文化を発見し、大阪から世界へ

国際学科

英語、中国語、日本語、フランス語、ドイツ語、朝鮮語などの語学はもとより、その国や地域の文化を学び、国際理解を深めます。２年生からは英語・中国語・日本語・国際の ４ つのモデルコースのカリキュラムにしたがって専門知識を深め、また学生のニーズに応じた短期研修や長期留学のプログラムによって海外での実践的な学びの場が提供されます。各言語のエキスパート、英語・日本語教員をはじめ、外国人対象のサービス業、国際協力関連の団体や海外展開する企業で活躍する職業人など、大阪、そして日本での多文化社会づくり、豊かで平和な国際社会づくりに貢献できる感性豊かな人材を育てます。

スポーツ健康学部

スポーツで人々を幸せに！

スポーツ健康学部では「スポーツで人々を幸せに！」をスローガンに、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができるような社会づくりに貢献できるスポーツマインドを有した人材の育成に資する教育・研究を行います。

スポーツで人々の幸せに貢献する「スペシャリスト」を育成

スポーツ健康学科

より専門性の高いスペシャリストを育成するにあたり、次の ３ つのコースを設置しています。「身体教育学コース」では中学校・高等学校における保健体育教員、体育・スポーツ指導者などの人材を育成します。「スポーツ科学コース」では体育・スポーツ現場で観察される身体運動の仕組みやトレーニング方法について学習することで、自らアスリートとして、またスポーツコーチとして競技力を向上させることのできる人材を育成します。「地域ー健康科学コース」では運動・スポーツや健康づくりの指導、またその教室運営のノウハウを身につけ、運動動・スポーツで人と人をつなぎ、地域づくりができる人材を育成します。

経営学部

**学びのキーワードは、「企業」、「市場（マーケット）」、「社会」。
社会でマネジメント力を発揮できるビジネスリーダーをめざす。**

市場は「人」で動いています。すなわち、商品やサービスを「提供する人（企業）」と、「提供される人（消費者）」という、それぞれの立場から市場の動きをとらえることができます。本学部では、企業が行う営み（事業）や社会とのかかわり、モノやお金の動きや仕組みなど、さまざまな観点から企業と社会を学びます。

柔軟な発想力や適応力のある、ビジネスリーダーをめざす

経営学科

経営学ならびに会計学を主軸として、「今」に相応しい企業経営について理解するため、経営管理論、経営戦略論、経営組織論、人的資源管理論、財務会計論、管理会計論、マーケティング論、データ分析、地域産業論、まちおこしと観光、ファッションビジネス論などを体系的に学びます。
また、簿記、販売管理、情報処理などのビジネススキルを基礎から修得するとともに、会社のあらゆる階層でマネジメント力を発揮できるビジネスリーダーの育成を目指します。初年度は、専門基礎科目である経営学基礎と会計学基礎を必修として、入門ゼミナールでは新入生全員の学びをしっかりサポートします。

「人・モノ・お金・情報」の流れとしくみを専門的に学ぶ

商学科

本学科では、物流や金融、小売業、メーカー、情報サービスなど幅広い分野の事例を取り上げながら、私たち消費者の視点から、現実の企業活動と結びついた「人・モノ・お金・情報」の流れとしくみを学びます。マーケティングやeコマースなど、現代社会で必要な分野の知識を習得し、市場の環境変化をビジネスチャンスとして捉え、行動できるビジネスパーソンを目指します。講義で学んだ理論を実践できるアクティブラーニングを積極的に取り入れており、企業の商品開発プロジェクトおよび地域商店街の活性化プロジェクトに参画しています。

経済学部

**経済のしくみを知り、
家計と企業活動の関係を理解する。**

「高齢化」「景気」「格差社会」「企業活動」「金融」「環境」「福祉」「情報」などのキーワードが複雑にからみ合う「経済」というシステム。その経済のしくみを研究・理解し、家計と企業活動とのかかわりを考察していきます。

情報・国際社会を開拓するビジネスパーソンをめざす

経済学科

1、2年次は、経済の基礎をしっかり学び、3年次からは自分の将来を具体的にイメージし、経済理論、経済政策、金融論、財政論などの講義を受講しながら専門的に経済について学んでいきます。情報化・国際化に対応した講義や就職を意識したインターンシップ、充実したキャリア関連科目などを通じて社会の変化をとらえ、将来を開拓するビジネスパーソンを育成します。

グローバルな視野や知識を育み、世界を舞台にする人材を育てる

国際経済学科

1、2年次は、経済の基礎をしっかり学び、3年次からは、国際経済学、観光論、国際コミュニケーション特殊講義などの講義を受講しながら世界の動向や経済状勢に関する専門的知識、異文化理解力、コミュニケーションスキルを身につけていきます。現代社会は、どんな生活も、ビジネスも、世界と関わらずには成り立ちません。グローバルな視野と実践的なスキルを養い、世界を舞台に活躍できるビジネスパーソンをめざします。

デザイン工学部

人と環境にやさしい
新しいものづくりのカタチを追求。

便利さや快適さを追求し、発展を続けてきた現代社会。しかし、そこで暮らす人々が幸福を感じなければ、どんな技術の発展も意味がありません。本学の「デザイン工学部」では、“人と環境に優しいものづくり”を学びのテーマに設定。社会のニーズを的確に捉え、人々の豊かな生活を創造できる技術者・デザイナーを養成します。

デザイン＆ IT に強い技術者を育成

情報システム学科

社会のどこかで必要とされているものを創造して、確かなシステムへと変えることが同学科の役割。人の生活をより豊かにする情報システムを構築・活用できる学生を育成します。次世代ＩＣＴ(情報通信技術)社会に必要とされるソフトウェア開発、ネットワーク構築、組込みシステム、コンピュータグラフィックス、Webシステムについての知識と技術を身に付け、安心、安全な生活環境を支援する「デザイン＆ＩＴ設計に強いエンジニア」の育成をめざしています。

美しさと快適性の融合をめざす

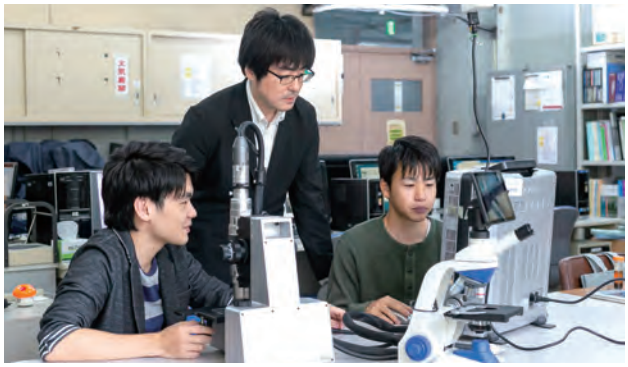
建築・環境デザイン学科

取り組む学習テーマも幅広く、光や空気といった目に見えないものから、プロダクト、街づくり、建築物まで、あらゆる空間と環境をトータルに考察。芸術的センスと工学的知識をバランス良く養うカリキュラムを通じて、魅力的なデザインを形にできるクリエーターの養成をめざします。

自然・人・まちが学びのフィールド。持続可能な環境と社会をデザインする

環境理工学科

サイエンスとテクノロジーの分野から、水・大気・生物・都市などの環境問題の解決に貢献することのできる学生を育成します。科学的探究心を高める学びと、野外や実験施設における実践的な学びを融合させることによって、環境分析・管理、生態系保全、造園・園芸、都市計画、理科教育などの分野で活躍する行動力あふれた人材を育てます。所定科目の単位修得により、中学・高校の理科の教員免許状も取得可能です。



工学部

プロフェッショナル・エンジニアを目指して

工学部では、ロボット・自動車・ＩＴ・通信・エネルギー・建設などを学ぶ４つの学科を設置し、これからのものづくりの世界で活躍できるエンジニアとして必要な知識やスキルを身につけます。人口が減少していく我が国において、エンジニアは貴重な存在になっていきます。その中で、将来に渡って活躍していけるプロフェッショナルを目指して欲しいと思います。

「ものづくり」のスキルを習得し、プロのエンジニアになる

機械工学科

グローバル社会で日本の技術力を発揮でき、日本の内需および外需産業を担うエンジニアを育成します。企画・設計・開発に必要な4力学と共にコンシューマが求めるデザイン力を3D-CADも利用しながら実践的に学びます。アジアを始めとする国々と研究・交流等を通じグローバル社会で求められるスキルを涵養します。

自動車、鉄道、バイクなど「乗り物」のエキスパートになる

交通機械工学科

交通機械工学科は、自動車やバイク、鉄道、航空機、船舶などの「乗り物」に特化したユニークな学科です。大阪交通大学が前身となる本学において、交通機械工学は、長い伝統と歴史を誇る分野です。機械工学をベースに、材料や各力学から、車や鉄道の社会的役割、制御システムまで幅広く学び、現代工学の結晶と言われる「自動車」や「鉄道」を教材に、実験・実習・演習などの実技を通じて技術を養成していきます。次世代の「乗り物」を開発できる実践型エンジニアの育成をめざします。

人と自然が調和する「都市づくり」を担うエンジニアになる

都市創造工学科

都市に求められる条件は、道路や鉄道、上下水道などの社会基盤(インフラストラクチャー)が整備されていることだけではありません。地震や台風など自然災害に対して安全であること、自然や風土と調和していることも求められます。本学科では、安全安心で自然環境にも調和した都市の社会基盤整備の在り方と方法論について、基礎から応用まで幅広く教育することにより、次世代の都市づくりを担うエンジニアを養成します。

ロボットや先端素材など、エレクトロニクスのプロになる

電子情報通信工学科

スマートフォン、AIなどの情報技術から、エネルギー、制御、光応用などの電気・電子・計測技術まで、幅広い電気電子情報工学の世界に対して、本学科ではまず各分野共通の基礎的事項を修得したうえで、「電気電子工学」、「情報通信工学」と「電力・エネルギー工学」の各分野に理解を拡げていきます。併せて、豊富な実験・実習を通してプログラミング、測定、解析等の訓練も行い、関連する分野の未来と変遷する社会のニーズに柔軟に対応できる技術者を育成します。

人間環境学研究科

環境研究の専門家・研究者を育成する。

持続可能な社会、循環型社会への転換をめざし、一人ひとりの自発的・積極的な活動が求められる現代において、「人間環境学」は、ますます重要性を増す分野といえます。このような時代に、新しい社会の創出に向けて、具体的な課題を見出し、人間関係の構築、地球環境の保全のためのデータ解析、計画策定を行うなど、課題解決に向けて高い専門性を発揮する人材を育成します。

人間環境学のあらゆる分野で、
高度な専門性実践力をもつ人材を育成する

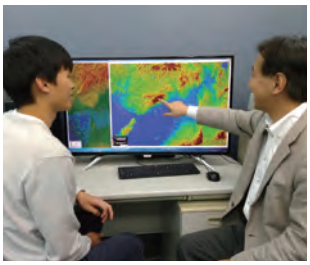
人間環境学専攻

【博士前期課程】

人間環境学は、自然科学、科学技術、文化、健康科学をはじめとする学際的な学問分野です。本専攻の研究領域は、都市・生態環境領域と文化・心身環境領域により構成され、人と環境の関わりの探求を目的として、人間環境の構築と地球環境の保全に力を尽くす、高度な実践力を有する人材を育成します。

【博士後期課程】

自然・文化・心身・都市・社会の5つのゾーンで、高度な専門性と研究を進め、環境に関する知見を習得した人材を育成します。



経営・流通学研究科

グローバル化、IT時代が進む産業界。
そのニーズに応える人材育成をめざす。

本研究科は、IT時代、電子商取引時代の国際ビジネス環境に対応できるよう、多様で実践的な科目を学べることが特長のひとつ。経営学はもちろん、会計学、流通・マーケティング、ロジスティクス、サービス、ビジネス情報等が、学びのテーマです。グローバル化の進む産業・企業活動に対し、高度な経営力や、戦略開発、起業の促進に応える人材の育成をめざします。

高度な経営力、問題解決能力をもつ人材を育成する

経営・流通専攻

【博士前期課程】

国際的かつ中長期的な視野とシステム思考に立った経営革新と流通革新の担い手として、専門的な知識と高度な問題解決能力と経営システムの構築能力を具えた、想像力豊かな人材の育成を目指します。

【博士後期課程】

研究課題の設定能力と研究の実行能力の双方を具備し、研究者としての倫理観をもって自立して研究活動あるいは高度な専門業務に従事しうる能力を有する人材の育成を目指します。

経済学研究科

急速な構造の変化を起こす現代社会。
多角的な観点をもつ経済人を育成する。

本研究科は、グローバル化する現代の経済・社会の動向についての深い認識と豊かな分析能力の育成をめざす高等研究教育機関です。経済危機、環境危機および社会活力の減衰といった多面的な危機に対処しつつ、アジアとの関係を軸として世界経済・社会を捉えなおし、新しい社会の枠組みとビジネスの構想を提示する力を持った人材の育成が目的です。

企業家精神に富む専門家職業人・高度の学識を持つ研究者を育成する

現代経済システム専攻

【博士前期課程】

現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についての高度な学識を持ち、総合的な分析能力・企画能力・実務能力の兼ね備えた人材を育成します。

アジア社会・経済を多彩な視点から分析できるエキスパートを育成する

アジア地域経済専攻

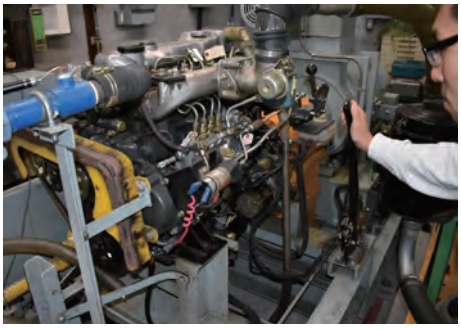
【博士前期課程】

アジア地域経済圏について多彩な視点で実践的かつ具体的に分析するエキスパートを育成します。

【博士後期課程】

アジアを的確に理解し、問題を把握し、それに適切に対処できる高度専門研究者・ビジネスアナリストを育成します。

工学研究科



高度なテクノロジーを駆使できる
エンジニア・研究者を目指して

工学研究科では、博士前期課程・後期課程を通じて、機械、交通機械、都市、電気電子、情報、通信、環境、デザインの各分野で先進的な教育研究を行っています。ますます高度化・複雑化する社会において、高度な技術力を持ち、高い倫理観と併せて社会の発展に貢献できる高度エンジニア・研究者の育成を目指します。

【博士前期課程】

より高度な能力をもつ人材へのニーズに、積極的に対応する

機械工学専攻

持続可能な開発ができる人材育成を担う本専攻では、設計開発の基礎となる機械工学分野を基軸とします。また、幅広い分野にも積極的に対応できる力を修得するために医療分野を始めとする応用分野にも視点を広げ、次世代の社会システムに対応できるスキルを身につけます。そして、人と自然の調和が保てるグローバル・エンジニアと研究者を目指します。

高度情報社会に対応し、エレクトロニクス革新を担う技術者を育成

電子情報通信工学専攻

IoTやAIなどの最新技術を活用した超スマート社会の実現に向け、その基盤となる電子・情報・通信分野の先端技術にアプローチするカリキュラム体系と研究体制を設けています。各専門分野のテーマを掘り下げながら、それらを関連づけて学ぶ高度なスクーリングと研究を通じて、幅広い専門知識を有する先端技術者の育成を目指します。

豊かな社会とその持続的な発展に寄与できる交通機械の専門家を育成

交通機械工学専攻

交通機械とは、自動車、鉄道車両、航空機のような輸送機械のみならず、それらを効率的に機能させるためのシステムも含まれる幅広いものです。本専攻は、自然環境と調和し、人々の福祉を念頭においた高度な交通機械の研究開発を通じて、実践的な産業技術者を養成すると共に、高度な専門的知識と研究開発能力を有する技術者を育成します。

新しい情報処理時代に備え、情報システムに十分対応できる研究者・技術者を育成

情報システム工学専攻

情報基礎と情報デバイス、情報通信、画像情報処理、マルチメディア、生産情報システム、知能情報システムの6分野にわたる教育研究テーマを設け、それぞれの分野の技術発展に貢献できる人材の育成を行います。また同時に、イノベーティブかつ分野横断的な情報技術が活躍する時代に対応できる技術者や研究者の育成を目標として教育を行います。

人と自然が調和する、都市創造のあらゆる場面に応える人材を育成

都市創造工学専攻

計画学、構造工学、土質工学、水工学、環境工学などを基軸に、新エネルギー資源、新素材、防災工学、バイオテクノロジー、リサイクルといった学問分野や、建設マネジメント工学、都市交通システム工学など、高度情報化システムにかかわる技術分野もプラス。人と自然が調和し、快適で暮らしやすい都市を創造する技術者を育成します。

快適な生活環境を創造できる、環境デザインのスペシャリストを育成

環境デザイン専攻

本専攻は、日本でも数少ない「環境デザイン」を専門的に学べるところ。環境デザインや情報処理を含む先端的なデザイン技術を備え、すべての人が快適に過ごせる生活環境を創造できる技術者の育成をめざしています。各領域における「学系（講義系）」と「術系（実践系）」科目を融合させ、ハイレベルな研究をバランスよく行っているのが特色です。

【博士後期課程】

次世代の工業製品やシステムを担う技術者を育成する

生産システム工学専攻

本専攻は、「機械工学」「電子情報通信工学」「情報システム工学」の3分野で構成され、ものの生産に関連するあらゆる技術と概念をシステム的にとらえ直し、さらにそれをソフトおよびハードの両面から、技術を発展させるための教育研究を行います。次世代の工業製品やシステムを生み出す高機能なシステムを、開発・構築・管理できる研究者・技術者を育成します。

人・社会・自然が調和する、持続可能な環境開発のできる技術者を育成

環境開発工学専攻

高度な人間環境の開発と構築をテーマとする学問・技術によせる期待が高まる昨今、本専攻は、あるべき都市の姿を計画・デザインする「都市・環境デザイン系」と、その環境を物理的・実態的に実現するための「開発システム工学系」の2分野で構成されています。人・社会・自然が調和し、持続的な開発を可能にする技術の探究を目的としています。

威風
威風
威風

3P

大阪産業大学附属高等学校

多様なコースで一人ひとりの夢をかなえる

目標に合わせたコース編成で一人ひとりの夢をかなえます。「偉大なる平凡人たれ」との建学の精神のもと、勉学・クラブ活動に頑張っている生徒の努力を励ましています。

目標に合わせて選べる２学科5コース

普通科

【 特進コースⅠ 】（男女共学）80名
反復学習による基礎力の養成に加え、難関大学受験を見すえた質の高い授業内容で応用力を身につけます。特別選抜クラスは国公立大学をめざし、主要５教科にバランスよく取り組ませ、知識の習得だけでなく、思考力も伸ばす総合的な学力を養成します。

【 特進コースⅡ 】（男女共学）80名
難関私立大学への進学に重点を置いて取り組みます。２年生からは文系で英・国・社、理系は英・数・理の３教科を重点的に学ぶことで、確実な学力アップを図ります。

【 進学コース 】（男女共学）258名
大阪産業大学との高校大学連携プログラムを推進しています。学業とクラブ活動を両立しながら、大阪産業大学を中心とした大学進学をめざします。

【 スポーツコース 】（男子）86名
学業とスポーツの両立を目標とし、全員が運動部に所属して幅広い体育実技を体験し、スポーツを活かした大学進学を目指します。

国際科

【 グローバルコース 】（男女共学）80名
主体的・積極的に語学力やコミュニケーション能力を磨くことを通して、チャレンジ精神を育み、異文化に対する柔軟な思考や理解力を養い、外国語大学・外国語学部への進学を目指します。

課外活動

体育系
硬式野球部　軟式野球部　ソフトボール部　陸上競技部
柔道部　剣道部　ウエイトリフティング部　卓球部
バレーボール部　バスケットボール部　テニス部
ソフトテニス部　空手道部　サッカー部　自転車競技部
少林寺拳法部　バドミントン部
ゴルフ部　アメリカンフットボール部　ラグビー部　水泳部
チアリーディング部　ダンス部（女子）　ダンス同好会（男子）

文化系
鉄道研究部　吹奏楽部　イラストレーション・コンピュータ研究部
演劇部　茶華道部　美術部　科学部　ＥＳＳ部　軽音楽部
書道部　放送部　中国語研究部　ボランティア活動部
クイズ同好会

【 募集人員（2021年度）】
普通科　504名
国際科　80名

OSAKA
TŌIN
2019

YAMAHA

OSAKA TŌIN

大阪桐蔭中学校

確かな学力と豊かな心を育む。

きめ細かな学習指導で確かな学力を養うとともに、体験型の授業や多彩な行事を通して、知的好奇心を刺激し、自主性・積極性を高め、豊かな心を育みます。

中高一貫教育で、じっくりと段階的に成長を促す

前　期　中高一貫１～２年

「英数選抜」「英数」の2コースに分かれて学習がスタート。知る喜びと楽しさを実感しながら基礎学力と学習習慣を定着させます。

中　期　中高一貫３～４年

「先取り学習」を進めつつ、各教科の内容を掘り下げ、理解を深めることで柔軟な思考力、応用力を養います。

後　期　中高一貫５～６年

各生徒の目標達成に向けて問題演習を中心とした実践的な授業を展開。受験に直結したカリキュラムで、志望校合格のための実践力を高めます。

２つのコース制

英数選抜コース

東大・京大など最難関国立大学や国公立大学医学部を目指すコース。最難関大学・学部に合格する不可欠な論理的思考力を養成します。

英数コース

難関国公立大学を目指すコース。問題演習を数多くこなすことで基礎的な学力をしっかりと定着させるとともに、受験を見据えて応用力を養います。

課外活動

体育系	サッカー部	バレーボール部	卓球部	器械体操部
	テニス部	山岳部	フラッグフットボール部	バドミントン部
	ソフトボール部	女子チアリーダー部	軟式野球部	リズムダンス部
	バスケットボール部	ラグビー部	ゴルフ部	少林寺拳法部
	剣道部	陸上競技部		
文化系	茶華道部	囲碁・将棋部	パソコン部	ロケット部
	美術部	インターアクト部	ブラスバンド部	地歴部
	クラシックギター部	合唱部	生物部	かるた部
	箏曲部	理科研究部	文芸部	書道部
	ディベート部	鉄道研究部	クイズ研究部	

【募集人員（2021年度）】　英数選抜コース　90名
英数コース　135名

大阪桐蔭高等学校

自己実現力と社会に貢献する強い意志を育む。

「鼎立成りて碩量を育む」を教育目標に掲げ、徳育・知育・体育のバランスのとれた全人教育を実践し、将来、社会の中で自己実現をはかるための基礎的な能力とともに、社会に貢献する強い意志を育みます。

目標に応じて選べる３つの類制

Ⅰ類　東大・京大など最難関国立大学・国公立大学医学部合格を目指します。

Ⅰ類では、高校2年終了までに大学受験に必要な学習内容をすべて終え、最終学年の1年間を大学入試を突破する実践力の養成にあてます。最難関大学の個別入学試験に対応できる論理的思考力と、的確に論述できる表現力を培います。

Ⅱ類　難関国公立大学への進学を目指します。

高校1年次はすべての教科を偏りなく履修し、総合的な学力の育成と基礎分野の徹底理解をはかります。高校2年進級時に文系・理系の進路選択を行い、高校2年終了までに大学受験に必要な学習内容をほぼ修了。最終学年では、文・理の専門性をさらに高めるとともに、大学入試問題を中心としたテキストを用い、演習形式の授業を展開。国公立大学の入学試験を突破できる学力を養成します。

Ⅲ類　国公立大学および全国の有名大学への進学をめざす体育・芸術コース。

必修クラブとして、硬式野球部、ラグビー部、ゴルフ部、卓球部、男子サッカー部、女子サッカー部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、陸上競技部、吹奏楽部、バレエ部の11のクラブがあります。それぞれの専門分野の技量の向上をはかるとともに、学力の向上にも努め、将来、指導者となるための素養を身につけます。

課外活動

Ⅰ・Ⅱ類

体育系
バスケットボール部　剣道部　バレーボール部
テニス部　軟式野球部　山岳部　女子チアリーダー部
ソフトボール部　陸上競技部　サッカー部
フラッグフットボール部　卓球部　器械体操部　バドミントン部
リズムダンス部　少林寺拳法部

文化系
インターアクト部　クラシックギター部　箏曲部　美術部
茶華道部　書道部　囲碁・将棋部　ロケット部　パソコン部
生物部　理科研究部　ブラスバンド部　ディベート部　文芸部
鉄道研究部　合唱部　地歴部　かるた部　クイズ研究部

Ⅲ類
硬式野球部　ラグビー部
ゴルフ部　卓球部
男子サッカー部
女子サッカー部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
陸上競技部　吹奏楽部
バレエ部

【募集人員（2021年度）】Ⅰ類 180名　Ⅱ類 90名　Ⅲ類 180名

法人本部・大阪産業大学

1928年11月　創立者瀬島源三郎が大阪鉄道学校を大阪市北区兎我野町に設立
1944年　4月　財団法人大阪鉄道学校設立
1950年　4月　大阪交通短期大学設立　運輸科第２部
1951年　3月　学校法人大阪交通学園に改称
1965年　4月　大阪交通大学設立　経営学部経営学科、工学部第一部･第二部
機械工学科、第一部･第二部交通機械工学科
1965年10月　大阪交通大学を大阪産業大学に改称
1966年　4月　大阪産業大学短期大学部設立
1967年　3月　大阪交通短期大学廃止
1967年　4月　工学部第一部土木工学科増設
1975年　4月　学校法人大阪産業大学に改称
1984年　4月　工学部第一部電気電子工学科増設
1986年　4月　経済学部経済学科設置
1988年　4月　大学院工学研究科修士課程 土木工学専攻･電気電子工学専攻設置
1989年　4月　大学院工学研究科修士課程 機械工学専攻増設
1990年　4月　工学部第一部情報システム工学科･環境デザイン学科増設
1994年　4月　大学院工学研究科修士課程情報システム工学専攻･
環境デザイン専攻増設
1995年　4月　経営学部流通学科増設
1996年　4月　大学院工学研究科博士後期課程 生産システム工学専攻･
環境開発工学専攻設置
1998年　4月　大学院経済学研究科修士課程 アジア地域経済専攻設置
1999年　4月　大学院経営･流通学研究科修士課程 流通システム専攻設置
2000年　4月　大学院経済学研究科博士後期課程 アジア地域経済専攻設置
工学部機械工学科夜間主コース･
交通機械工学科夜間主コース設定
2001年　4月　大学院経済学研究科博士前期課程 現代経済システム専攻増設
人間環境学部文化環境学科･都市環境学科設置
2003年　4月　大学院経営･流通学研究科修士課程流通システム専攻を大学院
経営･流通学研究科修士課程経営･流通専攻に改称
2004年　4月　大学院工学研究科博士前期課程アントレプレナー専攻設置
大学院工学研究科博士前期課程土木工学専攻を
大学院工学研究科前期課程都市創造工学専攻に改称
工学部土木工学科を工学部都市創造工学科
2005年　4月　大学院人間環境学研究科修士課程人間環境学専攻増設
2006年　4月　大学院経営･流通学研究科課程変更
(博士後期課程経営･流通専攻設置)
大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻を
電子情報通信工学に改称
2007年　4月　大学院人間環境学研究科課程変更
(博士後期課程人間環境学専攻増設)
2008年　4月　人間環境学部文化環境学科を文化コミュニケーション学科に
名称変更、同都市環境学科を生活環境学科に名称変更、
同スポーツ健康学科増設
工学部環境デザイン学科を建築･環境デザイン学科に名称変更
2008年11月　学園創立 80 周年記念式典挙行
2011年　4月　経営学部流通学科を商学科に名称変更
2012年　4月　大学院工学研究科　交通機械工学専攻増設
デザイン工学部情報システム学科、建築･環境デザイン学科増設
2015年11月　大学開学50周年記念式典挙行
2017年　4月　国際学部国際学科設置、スポーツ健康学部スポーツ健康学科設置、
デザイン工学部環境理工学科増設
2017年　7月　大阪産業大学短期大学部廃止
2018年11月　学園創立 90 周年記念式典挙行

大阪産業大学附属高等学校

大阪産業大学附属高等学校

1928年11月　大阪鉄道学校設立認可（3年制各種学校）
1938年　2月　大阪第一鉄道学校設立認可（5年制中等学校）
1945年　4月　大阪鉄道学校を大阪第一鉄道学校に合併
1947年　4月　学制改革により大阪第一中学校設立
1948年　4月　学制改革により大阪第一高等学校
（普通・業務・機械・土木・電気・自動車科）設立
1949年12月　大阪鉄道高等学校・大阪鉄道中学校に改称
1975年　4月　大阪産業大学高等学校に改称
1992年　4月　国際科開設　男女共学制スタート
1996年　4月　大阪産業大学附属高等学校に改称
2004年　4月　普通科のコースを特進Ⅰ･Ⅱ、進学、スポーツコースに改編
国際科のコースを特進、進学コースに改編
2016年　4月　国際科の特進、進学コースをグローバルコースに改編

大阪桐蔭中学校高等学校

大阪桐蔭高等学校

1983年　4月　生徒急増期に対応し、大学キャンパスに大阪産業大学高等学校
大東校舎を開設（普通科普通コース・体育コース）
1988年　2月　大阪桐蔭高等学校の設立許可（産大高校大東校舎の分離独立）
1989年　4月　普通科に国際コース設置
1990年　4月　普通科に理数コース設置
1991年　4月　普通科国際コース男女共学に、女子生徒 25人入学
1998年　4月　普通科のコース制をⅠ･Ⅱ･Ⅲ類制に再編
2003年　4月　創立20周年 記念式典挙行
2007年　4月　シンフォニックホール竣工
2013年　4月　桐蔭アリーナ竣工
創立30周年記念式典挙行

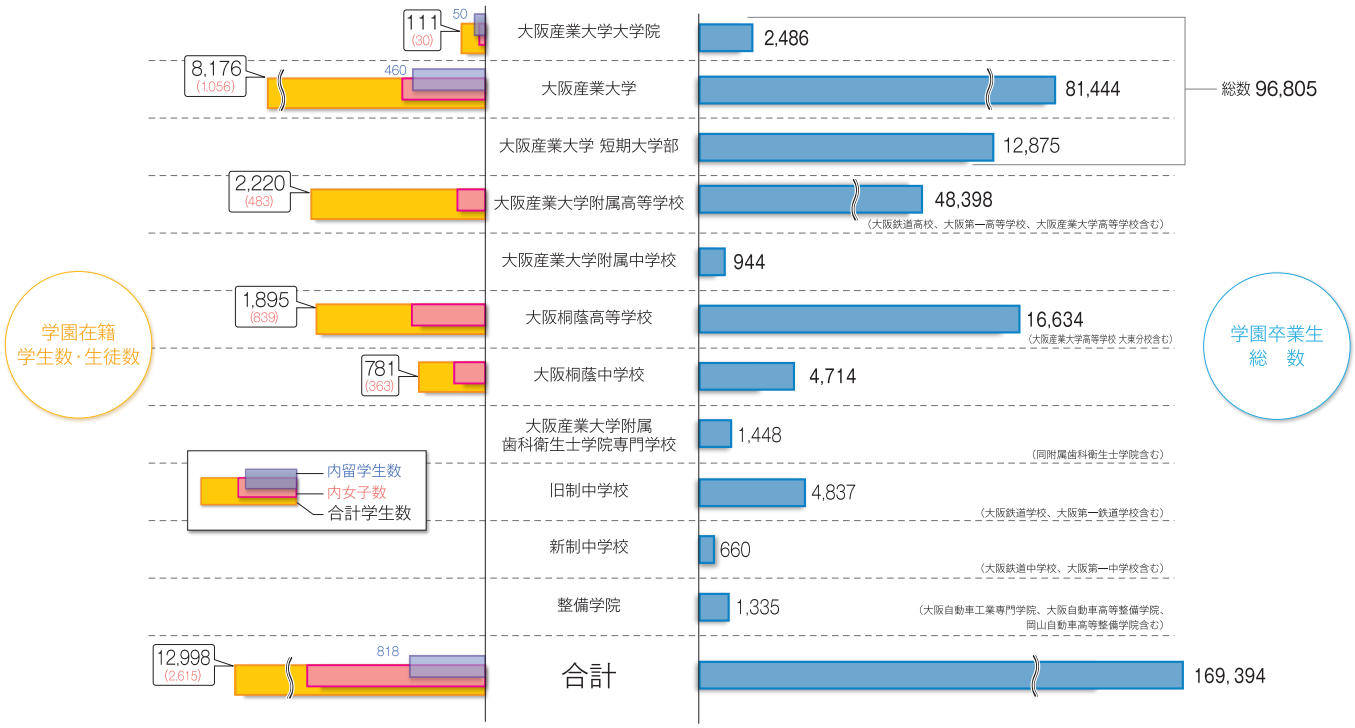
大阪桐蔭中学校

1995年　3月　大阪桐蔭中学校設立許可
1998年　3月　第１回卒業式
2001年　4月　英数コース、特進コース設置
2004年　4月　英数選抜コース設置
2008年　4月　英数選抜コース、英数コースの2コース制

学校法人大阪産業大学
事務組織図

（2020年4月1日現在）

学園在籍学生数・生徒数・卒業生数（2020年5月1日現在）



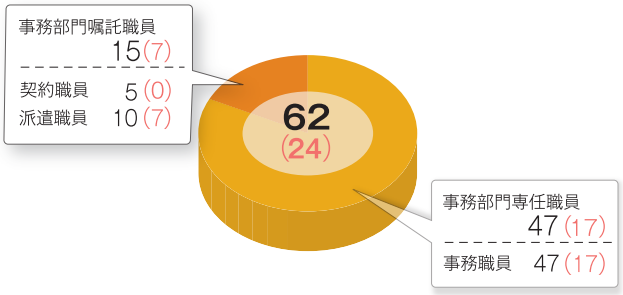
校地・敷地面積（2020年5月1日現在）

大阪産業大学大学院 大阪産業大学	大阪産業大学 高等学校	大阪桐蔭 中学校・高等学校	その他	学園総合計
建物延面積 計 123,550.50	建物延面積 計 20,412.38	建物延面積 計 28,911.21	建物延面積 計 4,655.35	建物延面積 計 177,529.44
校　地 計 212,574.92	校　地 計 30,923.91	校　地 計 44,364.51	校　地 計 26,716.48	校　地 計 314,579.82
中心校地　91,028.33 生駒校地 114,887.79 他（借地）　6,658.80	中心校地 18,789.29 生駒校地　8,838.00 他（借地）　3,296.62	中心校地 17,949.46 生駒校地 23,080.00 他（借地）　3,335.05	所有地 23,252.75 借地　3,463.73	

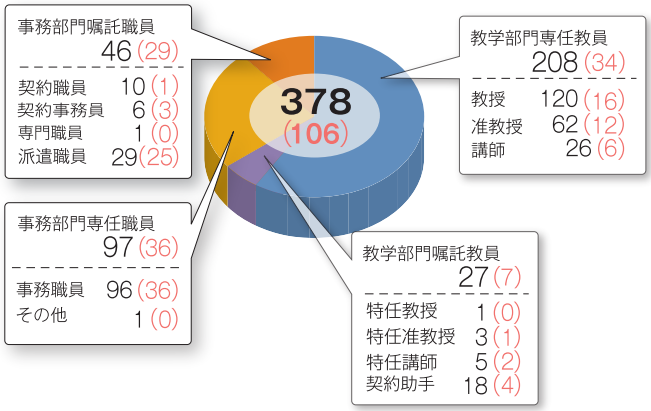
面積は m^2

全学園の職員構成 (2020年5月1日現在)

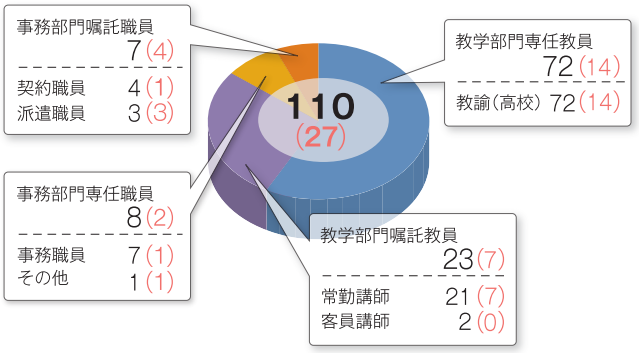
法人本部 (内部監査室含む)



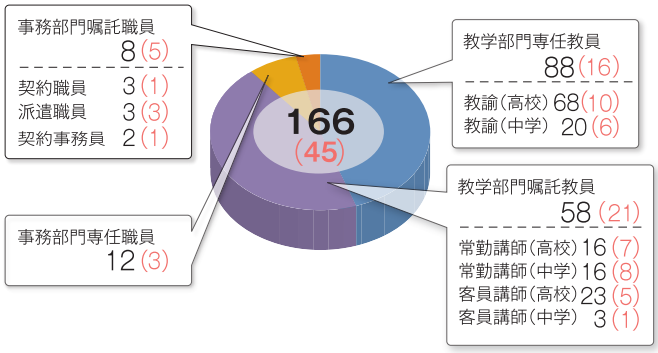
大阪産業大学

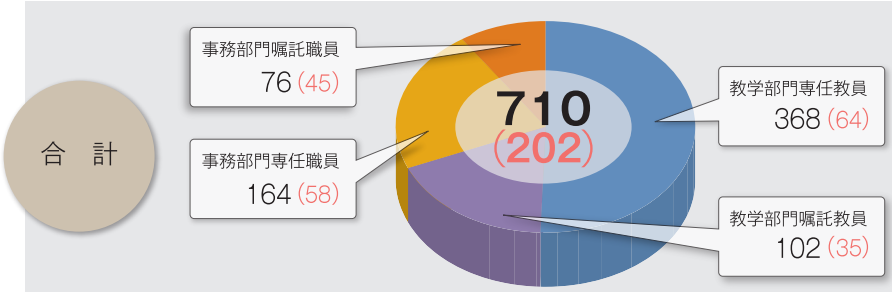


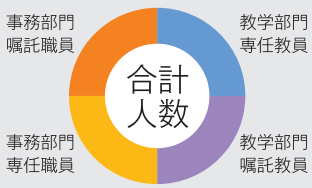
大阪産業大学附属高等学校



大阪桐蔭中学校高等学校







理事長・常務理事および学外役員は含まない。
事務部門に現業部門を含む。
( )は女子で内数。

1. 資金収支計算書

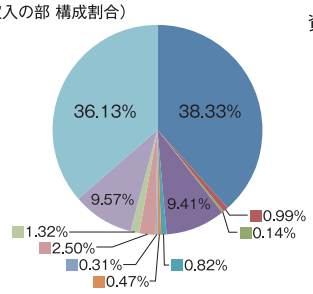
・当該会計年度の教育研究活動等の諸活動に対応する全ての資金収入および支出の内容を明らかにするもの
・当該会計年度における実際に支払を行った資金、収入のあった資金の一部始終を明らかにするもの

単位：百万円

収入の部	令和元年度
学生生徒等納付金収入	11,336
手数料収入	294
寄付金収入	41
補助金収入	2,783
資産売却収入	243
付随事業・収益事業収入	139
受取利息・配当金収入	91
雑収入	740
借入金等収入	390
前受金収入	2,832
その他の収入	10,685
資金収入調整勘定	▲3,711
前年度繰越支払資金	22,340
収入の部　合計	48,203

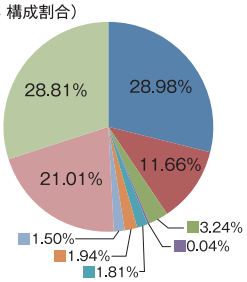
支出の部	令和元年度
人件費支出	8,548
教育研究経費支出	3,441
管理経費支出	955
借入金等利息支出	12
借入金等返済支出	535
施設関係支出	573
設備関係支出	443
資産運用支出	6,199
その他の支出	8,793
資金支出調整勘定	▲1,761
翌年度繰越支払資金	20,466
支出の部　合計	48,203

（収入の部 構成割合）



資金収入割合
学生生徒等納付金収入
手数料収入
寄付金収入
補助金収入
資産売却収入
付随事業･収益事業収入
受取利息･配当金収入
雑収入
借入金等収入
前受金収入
その他の収入･資金収入調整勘定

（支出の部 構成割合）



資金支出割合
人件費支出
教育研究経費支出
管理経費支出
借入金等利息支出
借入金等返済支出
施設関係支出
設備関係支出
資産運用支出
その他の支出･資金支出調整勘定

2. 事業活動収支計算書

・当該会計年度における事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするもの
・事業活動における収支の均衡状態を明らかにするもの

単位：百万円

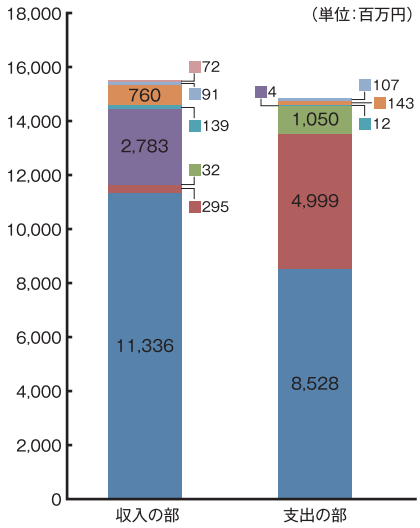
収入の部	令和元年度
学生生徒等納付金	11,336
手数料	295
寄付金	32
経常費等補助金	2,783
付随事業収入	139
雑収入	760
受取利息・配当金	91
その他の特別収入	72
事業活動収入	15,508

支出の部	令和元年度
人件費	8,528
教育研究経費	4,999
管理経費	1,050
徴収不能額等	4
借入金等利息	12
資産処分差額	143
その他の特別支出	107
事業活動支出	14,843

単位：百万円

収支差額の部	令和元年度
教育活動収支差額	764
経常収支差額	843
基本金組入前当年度収支差額	665
基本金組入額合計	▲278
当年度収支差額	387

（収入･支出の部 構成）



事業活動収入割合
学生生徒等納付金
手数料
寄付金
経常費等補助金
付随事業収入
雑収入
受取利息･配当金
その他の特別収入

事業活動支出割合
人件費
教育研究経費
管理経費
徴収不能額等
借入金等利息
資産処分差額
その他の特別支出

3. 貸借対照表 事業活動収支計算書とは下記を明らかにする書類となります。

・事業活動における収支の均衡状態を明らかにするもの

資産の部

単位：百万円

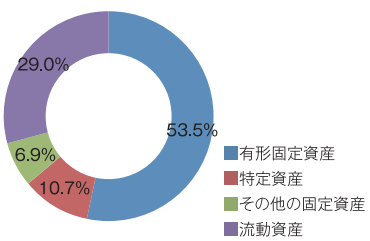
科目	令和元年度
有形固定資産	40,963
特定資産	8,203
その他の固定資産	5,262
流動資産	22,203
資産の部 合計	76,631

負債及び純資産の部

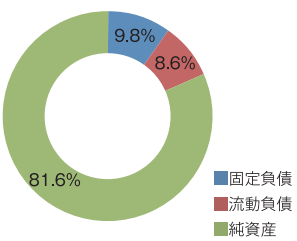
単位：百万円

科目		令和元年度
固定負債		7,505
流動負債		6,582
純資産の部	基本金	82,179
	繰越収支差額	▲19,635
負債及び純資産の部 合計		76,631

（資産の部 構成割合）



（負債及び純資産の部 構成割合）



※本学の財務情報に関しては、
本学HP(https://www.osaka-sandai.ac.jp/info/public/)
にて詳細を公開しております。

職員の行動指針

学校法人大阪産業大学は、建学の精神および教育理念に則り、教育研究の発展に努め、これらの活動を通して広く社会に貢献します。

本学園の役員および職員は、教育研究および社会貢献を担う機関として本学園に課せられた社会的使命を認識し、高い倫理観と社会的良識に則って行動します。

教育の推進

私たちは、建学の精神「偉大なる平凡人たれ」に基づき、実学教育とその基となる基礎教育の実践により、変化する社会において柔軟に対応できる“応用力”を持ち、社会に貢献できる人材（産業人）を養成します。そのために、常に学生・生徒への教育や指導の向上に励み、学生・生徒の満足度の向上に努めます。

人権の尊重

私たちは、学生・生徒、本学園で働く全ての職員の基本的人権、人格、価値観、プライバシーを尊重し、暴力行為、ハラスメント、差別的言動に対して厳正に対応します。

コンプライアンスの徹底

私たちは、法令および本学園の諸規程を遵守して誠実かつ公正に職務を遂行し、高い倫理観と社会的良識に則って行動します。

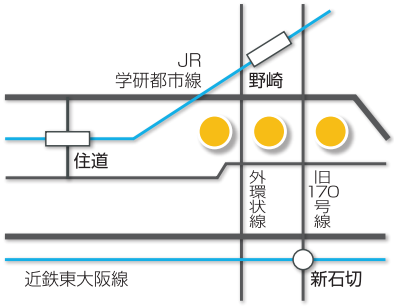
社会貢献の推進

私たちは、地域社会から多大な支援を受けていることを自覚し、地域社会との交流や相互協力を通じて、地域社会の発展に貢献すると共に、教育研究の成果を積極的に社会に還元します。

改革の推進

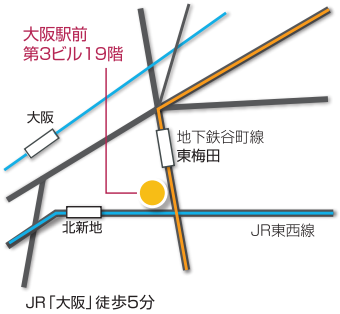
私たちは、自身の業務に対して誇りと責任を持ち、常に能力の向上、業務の効率化に努めます。また、自ら考え能動的に行動し、新しいことにチャレンジする姿勢を持ち続けます。

法人本部 / 大阪産業大学 / 大阪桐蔭中学校 / 大阪桐蔭高等学校



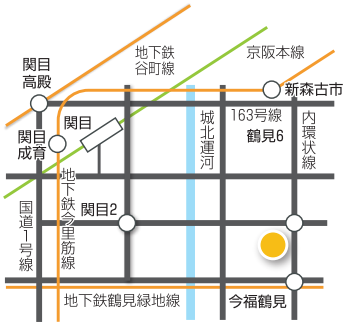
- JR東西線「北新地」、JR大阪環状線「京橋」から JR学研都市線で「住道」下車、駅南の大学専用シャトルバスターミナルから、大学まで約15分　住道駅は快速電車停車
- JR東西線「北新地」、JR大阪環状線「京橋」から JR学研都市線で「野崎」下車、徒歩南へ15分
- 近鉄けいはんな線「新石切」下車。近鉄バス「住道駅前」行「四條畷」行または「産業大学前」行（約20分）で「産業大学前」下車
- 近鉄奈良線「東花園」下車、近鉄バス「住道駅前」行または「四條畷」行（約30分）で「産業大学前」下車

梅田サテライトキャンパス



JR「大阪」徒歩5分
JR東西線「北新地」徒歩5分
地下鉄谷町線「東梅田」徒歩3分

大阪産業大学附属高等学校



- 地下鉄長堀鶴見緑地線「今福鶴見」下車、徒歩北へ7分
- 地下鉄今里筋線「新森古市」下車南へ7分
- 京阪電車「関目」下車、徒歩東へ15分
- 地下鉄谷町線「関目高殿」下車、徒歩東へ20分
- 市バス
  ㊾総合医療センター横堤バスターミナル
  ㉛天満橋―新森7丁目東行「関目2丁目」下車、徒歩東へ5分
  ㊽京橋駅―新森7丁目東行
  ㊻布施北口―新森公園行「鶴見6丁目」下車、西へすぐ

学校法人
大阪産業大学

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001　FAX：072-871-1253
https://www.osaka-sandai.org/

大阪産業大学
〒574-8530　大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
TEL.072-875-3001　FAX.072-871-9855(庶務課)　https://www.osaka-sandai.ac.jp/

梅田サテライトキャンパス
〒530-0001　大阪市北区梅田1丁目1番3号　大阪駅前第3ビル19階
TEL.06-6442-5522　FAX.06-6442-5524　http://www.umeda-osu.ne.jp/

大阪産業大学附属高等学校
〒536-0001　大阪市城東区古市1丁目20番26号
TEL.06-6939-1491　FAX.06-6933-8482　http://www.osaka-sandai.ed.jp/

大阪桐蔭 中学校高等学校
〒574-0013　大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
TEL.072-870-1001　FAX.072-875-3330　http://www.osakatoin.ed.jp/